

## 平成 29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	駒ヶ根発きもの文化伝承事業
事業主体 (連絡先)	駒ヶ根発きもの文化伝承プロジェクト 駒ヶ根市北町 24-17
事業区分	③教育・文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	920,432 円 (うち支援金 : 553,000 円)

### 事業内容

全国の独創的な手織物の制作者の発掘と支援を目的にシルクミュージアムで開催されている「現代手織物クラフト公募展」は第10回記念展になります。

地元の「伊那紬」を、ご紹介しながら、伊那谷の良質な生糸を地元の植物で染めて手織物「伊那紬」としてきものショーで「ランウェイ」で、ステージ発表し、地域資源の魅力を発信した。

駒ヶ根市長・信州ご当地タレントの成美さん・長野県看護大学の先生・小学生の十三参りの提案・当日のお客様のランウェイなど、プロのウォーキングも交えて、駒ヶ根きもの文化伝承プロジェクトとして着物ショーを行う事により、地域活性化を計った。



【着物ファッションショー】

### 【目標・ねらい】

- ① 伊那紬の織手による魅力発信
- ② 小学生の十三参りの提案
- ③ インバウンド花嫁撮影ロケ
- ④ 現代手織物クラフト展示会

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

第10回目の記念大会「現代手織物クラフト公募展」にあわせ、手織物セレクト展「昭和後期の織物」展示会、伊那紬を伝統工芸士による実演等、きものファッションショーと同会場で行うなど、今回の着物ショーは、地元駒ヶ根市の伝統工芸品「伊那紬」を、織手が作品を着てウォーキングするという、駒ヶ根市の地域活性化、商工振興の事業効果を市民に発信した。

小学生の十三参りの提案は、少子化の現代において、きもの文化伝承事業として、今後大きな事業展開が期待できる。ファッションショーを超えた事業効果があった。

### ※自己評価 【A】

#### 【理由】

小学生の十三参りの提案が参加者の大きな評価につながった。  
伊那紬を作った織手の皆さんが紹介した事が評価アップになった。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

平成30年度4月に台湾にインバウンド、花嫁きもの姿ロケ撮影等の観光旅行の企画を、駒ヶ根発きもの文化伝承プロジェクトのメンバーで、地域活性化を最重点に考えて、ご紹介してくる。

「2020 東京オリンピックにむけたシルクの可能性」駒ヶ根市の伝統工芸品「伊那紬」を、海外できもの着付け・ファッションショーを開催できるように事業効果を発信していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある